[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 過疎計画掲載 0

事 業 名	協働の環境づ	くり推進事業	ŧ		事業期間	平成	23年度 ~ —	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	6-1-1	他に関連する 基本事業	6-1-2					所管課係	市長公室課協働推進係
	行政主導のまちて 理解、協働意識 <i>の</i>		と行政が目的や課	題などを共有し	- 、ともに取り組む協	弱働のまちづく		手段 (どのような方法で 実現するのか)	これまで実施して法を改善しながら	てきた協働に関す ら継続する。	る事務事業数を維	挂持することを目 指	旨し、職員・市民の	の協力を得られるように内容や手
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民、町内会や市	万民活動団体						成果 (どのような効果が 得られるのか)	市民、町内会組料できるとともに、	織や市民活動団体 、出された意見等	、企業等と懇談し をこれからの市民	,意見交換すること と行政との協働の	:により、把握した)まちづくりの方気	た課題の解決策を検討することが 策等に反映することができる。
		人口減少・少子高	高齢化が進む一方、	住民ニーズは多	基様化・複雑化し行	政に期待され	る役割は増え続けて	いる。このような	なかで、魅力ある	るまちづくりを進	めていくには、行	政と住民の「協働	によるまちづくり	リ」を進めていく必要があることか

[DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	地	方 債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額	300, 000			900, 000	300, 000	300, 000	300, 000	900, 000	300, 000	300, 000	300, 000	300, 000	1, 200, 000	3, 000, 000
₹			予算計上額	300, 000			900, 000	300, 000	300, 000		600, 000					0	1, 500, 000
			実 績 額	C	261, 000	300, 000	561, 000	300, 000			300, 000					0	861, 000
れ	— A	设 財 源		7, 000	.,		,	13, 000	10,000	13, 000		13, 000	13, 000	13, 000	13, 000	52, 000	112, 000
+.			予算計上額	7, 000				13, 000	,		26, 000					0	39, 000
<i>t</i> =			実 績 額		03, 430	1, 481	40, 974	6, 449			6, 449					0	47, 423
事	事 業	費合計		307, 000		307, 000	921, 000	313, 000	313, 000	313, 000	939, 000	313, 000	313, 000	313, 000	313, 000	1, 252, 000	3, 112, 000
			予算計上額	307, 000		303, 000	913, 000	313, 000	313, 000	0	626, 000	0	0	0	0	0	1, 539, 000
業			実 績 額		300, 493	301, 481	601, 974		0	0	306, 449	0	0	0	0	0	908, 423
費				懇談会会場借上	地域力UP講座 講師謝礼 210	地域力UP講座			地域力UP講座								
	車 業	費予算の		力UP講座講師	千円 普通旅	再即例刊 210 千円 普通旅		講師謝礼 210 千円 普通旅	再即湖代 210 千円 普通旅								
の		内容		謝礼 210千円	費 28千円その	費 28千円その		費 28千円その	費 28千円その								
推				その他 55千円	他 65千円	他 65千円		他 75千円	他 75千円								
推				圣 管短仕減小	予算額は減少。	前年度同額		消耗品費、印刷	前年度目類								
移	ے د				7 昇級は減少。 福祉センターの	刑斗及问领		月代印度、印刷 製本費の増	刑斗及问領								
		度予算と D比較		のため。	閉館により会場			2012									
		減理由)			借上費が不要と なったため。												
					なうににめ。												
					普通旅費の減。	普通旅費の減。		普通旅費の減									
	宝结	との比較		ルス感染症の影													
		減理由)		響により事業を中止した。													
				T 0/2.													
												Ш					

787	表 マン 7 圧 化	P - 8T1W															
活重	助指標 1	(「手段	」をもとに設定)	指標名:懇談会等	等の開催回数		指標の求め方:熱	恳談会等の開催回	数								
成县	具指標 1	(「成果	」をもとに設定)	指標名:協働事業	業数		指標の求め方: 1	協働事業調査によ	る協働事業数								
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年	計画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指	·— ·	1	1	1		1	1	1		1	1	1	1 1		
	指標	(単位/	人根框	0	1	2		130	100	10/		100	100	10/	100		
	175	成果指植 (単位/		130 131		130 134		134	L	130		130	130	130	130		
		事業のi	八根に	101	132	134		101									
			信標をもとに評価)				ほぼ達成されている										
		事業の (成果指	成果 á標をもとに評価)				少し上がっている										
		事業の3	効率性 に対する成果)				変わらない										
		総合評化					普通である										
		-VE BIT		自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
					まちづくり懇談	12月に砂川市立	協働事業数につ										
							いては、新型コ ロナウイルス感										
				カUP講座の開	きなかったが、	まちづくり懇談	染症の影響を受	ことができたた									
							けつつも計画値 は維持すること										
				懇談会も実施す	ることができた	地域力UP講座	ができた。懇談	きた。協働事業									
事				ることができな	ため計画値は維	を開催することができたためほ	会等の開催回数についても計画	数については前									
	評価			協働事業につい	きた。	動指標は目標値	値は維持するこ	本及と同様では あったが成果指									
務				ても非常に大き	協働事業数につ	を達成した。	とができたが、	標を達成した。									
	容		松合証体の判断	な影響を受けて	いては、新型コロナウイルス感	協働事業数につ いては、昨年度	今後は新市長か 就任したことを										
事			理由または指標	な事業が中止と	染症の影響を受	に比べ事業数が	受け、各団体や										
*			の実績値に関する自己分析	なった。そのような中でも人物	けつつも計画値	増加し成果指標 は目標値を達成	企業等と意見交換を行い 理題										
2116			७ । ८७ मा	制限やオンライ		した。	などを共有し相										
業				ンでの開催な ど、各課で工夫			互理解を進める ために協働のま										
				を凝らすことで			ちづくり懇談会										
評				計画値は維持す ることができ			を開催すること が必要と考えて										
				た。			いるため「普通										
価							である」と判断										
							した。										
		今後のス	方向性				現状のまま継続										
				R5: 物種のまたづく!	リた准めてニニー	わ掛の担いま し	たる本民ナルド	R8 :				R10 :					
						、協働の担い手と 行うことは、市民											
				題などを共有し、	、相互理解を図る	ためにも必要であ	る。また、講座										
						多くの市民に協働 ことも必要である											
	方向	生の判断	理由	協働事業についる	ても、市民と市が	それぞれの役割と	:責任を認め合い										
	改善.	改革の	内容			の課題を解決した要と考えるため「											
	(R5.	. R8. R1	0)	め)にも事業剱を# 続」とした。	唯付り ることが必	女に有ん句にめ)	坎 仏のまま秘										
				I													
				I													
				I													

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 過疎計画掲載

事 業 名	広報すながわ	発行事業			事業期間	昭和	26年度 ~	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	6-1-2	他に関連する 基本事業						所管課係	市長公室課広報広聴係
		必要で身近な情報 ↑る関心を深めて		どの行政情報を	- わかりやすくお知ら	っせし、市民と	の情報の共有化	手段 (どのような方法で 実現するのか)	「広報すながわ」 委託している。瓜 また、地デジ広幸	広報紙は広報委員	63名により市内の	全世帯に配布され	เる。	稿は自主製作し、印刷製本を外部
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民							成果 (どのような効果が 得られるのか)	ては、特集記事が	などを通じてより 子版(カタログポ	具体的に市民に居	知を図ることで行	」政に対する関心	供される。特に重要な情報につい や理解が深められる。アプリケー 速性が必要な情報発信については

[DO]

実績

				第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国	費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
道	費	計画額				0				0					0	0
	_	予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
地方	債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
入その	他	計画額				0				0					0	0
5	_	予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0	14 500 000			0					0	0
れ 一般財	才 源	計画額	11, 846, 000	11, 846, 000	11, 846, 000	35, 538, 000	14, 562, 000	, ,	14, 562, 000		14, 562, 000	14, 562, 000	14, 562, 000	14, 562, 000	58, 248, 000	137, 472, 000
<i>t</i> =	_	予算計上額	11, 846, 000	12, 735, 000	13, 480, 000	38, 061, 000	14, 562, 000	14, 736, 000		29, 298, 000					0	67, 359, 000
		実 績 額	10, 986, 370	11, 927, 452	12, 795, 571	35, 709, 393	12, 863, 901			12, 863, 901					0	48, 573, 294
事業費名	合計_	計画額	11, 846, 000	11, 846, 000	11, 846, 000	35, 538, 000	14, 562, 000	14, 562, 000	14, 562, 000	43, 686, 000	14, 562, 000	14, 562, 000	14, 562, 000	14, 562, 000	58, 248, 000	137, 472, 000
**	_	予算計上額	11, 846, 000	12, 735, 000	13, 480, 000	38, 061, 000	14, 562, 000	14, 736, 000	0	29, 298, 000	0	0	0	0	0	67, 359, 000
業		実 績 額	10, 986, 370	11, 927, 452	12, 795, 571	35, 709, 393	12, 863, 901		0	12, 863, 901	0	0	0	0	0	48, 573, 294
費			・広報委員業務 謝礼4,198千円		・広報委員業務 謝礼4,191千円		謝礼4,173千円	・広報委員業務 謝礼4,162千円								
事業費予算の			・印刷製本費 6.105千円	・印刷製本費 7.002千円	·印刷製本費 7.744千円		・印刷製本費 8.844千円	・印刷製本費 8.975千円								
の内容			6,105千円 ・使用料1,543	7,002千円 ・使用料1,535	7,744千円 ・使用料1,545		8,844十円 ・使用料1.545	8,975千円 ・使用料1,599								
推			千円	千円	千円		千円	千円								
移			使用料(広報閲		・印刷製本費紙			・印刷製本費紙								
前年度予算			覧システム使用 料)の増	る印刷製本費紙 代の増	代の物価高騰、 カラー化による		報紙カラー化に	代の物価高騰 ・広報システム								
の比較			71 074	10024	増			使用料の増								
(増減理	田)				・広報システム		ラー化)									
			CD Di(소) 개 ·	ropiel + # ^	使用料の増									0		
			・印刷製本質の 入札による減、		・印刷製本費の 入札による減、		・印刷製本費の 入札による減、						U	U		
実績との	比較		広報すながわ発	広報すながわ発	広報すながわ発		広報すながわ発									
(増減理	田)		行ページ数の減	行ページ数の減	行ページ数の減		行ページ数の減									

Ħ	標の推	移・評価															
汨	動指標	1 (「手段」を	もとに設定)	指標名:広報発行	行回数		指標の求め方:年	F間発行回数									
反	果指標	1 (「成果」を:	もとに設定)	指標名:取材記	事掲載数		指標の求め方:耳	収材した掲載数									
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	指	活動指標 1 (単位/回)	計画値 実績値	24 24	.4			24 24	L	24		24	24	24	24		
	標	成果指標 1	計画値	70	.4			70	, ,	70)	70	70	70	70		
		(単位/件) 事業の達成	実績値	99	115	159		156									
		(活動指標を	もとに評価)				達成されている										
			もとに評価)				上がっている										
		事業の効率(事業費に対					上がっている										
		総合評価					良好である										
			たをで他やをしりタよ果バ得様て役と今要けれりたをで他やをしりタよ果バ得様て役と今要けれりの目を映行工た、ンるや一数なおりをえも情取情すのる。イ情しとイラのイー増効、果て発報材報いかまで表現でに一リ経ナド加果広たい信をでを紙計したいな掲よトー済ンのなが報したのでを紙がしていまでを紙がしていませい。	ルリイしにり増たンな掲よスに効バ得様て役と今要けれりし、感必つり取し他やをし、ンるやカのなりをえも情取情す屈染しト回、材た課行工たスプ市マー増効、果て発報材報いけをは、いるでは、の改夫こイラのイド加果広たい信をでを紙らに、等復前機。の改夫こイラのイド加果広にい信をでを紙に、等復前機。の改夫こイラのイド加果広にい信をでを紙には、のなり、では、かり、のかりのよが、で報でにより、では、のの大きにない。必つられにるよた少向よが、べ報でにトー済ン取ど出のた。必つらわにるよた少向よが、べ報でにトー済ン取ど出のた。必つらわにる	よルラるこ市をすしる取傾たす齢章コムてどに制でるりを一よと民福るて。村向、るなを一ペ関、社作、こっ、発にらどしと作の数あ事象からかジさ面識る費がリしでうかな、世界のであるに着らしらへせのをこをでいた。 いかな 親こ からから からから からから からから からから からから からから か	りラめろ時ルも容りみり滅予せたる、一補でにし紙を、直、少算なと、ことの言語をと成こ一せをよろ年をしる二ま全と成こ一せをよろにないない。 しょうかんと、一よのたをに数幅加にあたこ同アり内 組よをにさし	ちまいしをすしる引数向たす齢し層でらかジさ面でた広、掲るてたきはに、るな、のはしらへせのあ親報市載こ制め続多あ記対ど比記文、木繋る削るしを民しと作、きくる事象を較事章RIーげる測るしを民しと作いまな。に者考的に量コムてどにとや指写作意で年村るま関の慮若つを一ペ関、もとや指写成識いに回傾 係年 年い減ド一覧紙意と、す 真成識いに回傾 係年	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:		
		今後の方向	性				現状のまま継続										
	改善	性の判断理由 、改革の内容 、R8、R10)	ŧ.	たため、全体的I えられる。 令和5年度9月よりまでよりも紙面 より、ページ数 ところである。!	・ ロナウイルス感染な リ、なのままでののある。 は、通年で容を大くないできた。 はなりなまま幅に のままにできた。 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	いが、今後上昇し 一化と同時にリニ めたり、構成等を 予算額を増加させ せるが、細かい部	ていくものと考 ューアルし、今 組み直すことに ないようにした 3分では読みやす	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 過疎計画掲載

事 業 名	広報事業(施	設見学会、砂	川を紹介する3	写 真)	事業期間	昭和34	年度 ~	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	6-1-2	他に関連する 基本事業						所管課係	市長公室課広報広聴係
目的 (何のために実施する のか)	とともに、まちつ	づくりへの関心を こよるまちづくり	一層喚起するため の一環として、市	施設見学会を行う	でを直接見ることでう。 8 以下した砂川を ではたりした砂川を			手段(どのような方法で	T1 111 + 6T A + 7 F	写真は、テーマを	設け広報誌等によ	り作品を公募し、	応募のあった作品	ど5か所程度を見学。 品を審査のうえ各賞を選考し表彰
対象 (誰・何を対象として いるのか)	施設見学会は市員	民、紹介する写真	については市外か	らの応募も可能				(どのような効果が	着とまちづくりし	こ対する関心が深	められる。また、	作品を鑑賞するこ	ことによって、普段	することによって郷土に対する愛 没何げなく暮らしている砂川を見 こ対する理解が深められる。
		#====================================	十日	0 = 7 = = 0 0 + =	************************************		Th.III + 0 + +	* 中欧1- B 7 = 1.15	11 + + - 3 / 11 / 11	5.4 E + E E + +	11 ++ 0 = + +	王朝神」でよう	2 4 W D71 4 D 0 4 CF L 1	1中佐している

事業開始時の状況・これまでの経 権 た設見学会は、市民が生活に関連のある市内の公共施設から民間の施設などを見学し、砂川市のまちを実際に見ることによりまちづくりの進展を実感したり、まちの良さを再認識してもらうため昭和34年より実施している。 砂川を紹介する写真は市内に限らず市外に居住する方からも公募し、写真を通じて砂川の良さを再発見、再認識してもらうため昭和40年より実施している。平成29年度より、カメラ部門とスマホ・インスタ部門に分け手軽に応募できるように し、参加者数を増やすよう努めている。平成30年度は、市制施行60周年記念事業として両部門の最優秀賞の賞金を増額して行った。

[DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4力年計	画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地	方 債					0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他					0				0					0	0
₹			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
れ	— 船	段 財 源		89, 000	89, 000	,	,	119, 000	,	119, 000		119, 000	119, 000	119, 000	119, 000	476, 000	1, 100, 000
+_			予算計上額	89, 000	100, 000	,	,	119, 000	,		252, 000					0	538, 000
た			実績額	31, 000	73, 315			119, 000			119, 000					0	309, 315
事	事業	費合計		89, 000	89, 000	89, 000	267, 000	119, 000	119, 000	119, 000	357, 000	119, 000	119, 000	119, 000	119, 000	476, 000	1, 100, 000
-114			予算計上額	89, 000	100, 000	97, 000	286, 000	119, 000	133, 000	0	252, 000	0	0	0	0	0	538, 000
業			実 績 額	31, 000	73, 315	86, 000	190, 315	119, 000	0	0	119, 000	0	0	0	0	0	309, 315
費						バス借上げ料 66千円		バス借上げ料 88千円	バス借上げ料 88千円								
		費予算の		写真入賞者用賞		50千円 写真入賞者用賞			写真入賞者用賞								
の		内容			品 31千円	品 31千円		品 31千円	品 45千円								
推																	
100	_			バス借上げ料の	バス借上げ料の	バス借上げ料の		バス借上げ料の	写真入賞者用賞								
移	前在	度予算と		増	増	減		増	子具八貨石川貝 品 の増								
		及ア昇⊂)比較															
		減理由)															
				施設見学会中止	施設見学会バス	施設見学会バス		同額									
	実績	との比較		により、バス借 上げ料減。※3	借上げ料の減。 ※3日補正▲25	借上げ料の減。 ※3月補正▲11											
		減理由)		月補正▲58千円	千円	※3月補止▲II 千円											
					•							ш			•		

Ħ	標の推	移・評価															
汨	動指標	1 (「手段」を	もとに設定)	指標名:開催回数	数		指標の求め方:関	開催回数									
反	果指標	1 (「成果」を	もとに設定)	指標名:参加者数	数		指標の求め方:参	₿加者数									
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	指	活動指標 1		2	2	2 2		2	2	2		2	2	2	2		
	標	成果指標 1	·	40	. 4			40	40	40		40	40	40	40		
		(単位/人)	人根に	54	97	41		46									
			をもとに評価)				達成されている										
			をもとに評価)				上がっている										
		-	☑性 対する成果)				変わらない										
		総合評価					良好である										
	事 評価内容 総合評価の判断標由または指関すの実績値に関す		リ中画がす54がでるる発よ積極とを使り上をからたことである内。3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年3年	新ル響間し加川真応ちるる発型スををたがあ紹ら4名あ評とき真っな感路短縮3つたすかり価でえきとをたがあ紹ら4名あ評とき真らである。ない。で、また、関の。るら、で、表がある。ない。ない。ない。ない。ない。	り時催紹28 が知ことんとをが知ことんとをが知ことんとをが知る28 本の少年で、てえど度短。るらたなあは成はているこので、である。 いび指画のもとした。 はずいらに関をは募別た数悩標値参	ル響きを指とるさ業改なであ、などな除機ももしている。というでは、またのでは、いる。のでは、いる。のでは、いる。のでは、は、いる。のでは、は、いる。のでは、いる。のでは、いるでは、いるのでは、いるでは、いるでは、いるのでは、このでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるで	あ紹介名あしたとをがついた。るらんとをがついたし起、いいたのが、は成はて真はないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、はないでは、は、いいでは、いいで	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:		
		今後の方向	性				現状のまま継続										
				R5: 佐部目巻クの日3	当たについては	虹펜크 ㅁㅗㅗ / "	フ献沈広の彫郷	R8 :				R10 :				п	
	改善	性の判断理 、改革の内 、R8、R10)		にるでて砂いて用をある。 「それによとき、くち氏にい川くいしをあいとすはあめ、エナンは、のではいいに増いていいが、 したい しゅう しょう いっぱい しょう いっぱい しょう いっぱい しょう いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱ	写真については、 宣伝を増やし参加 ることから、現在 宣伝となるよう作 最大の効果である かい部分での修正	あき業 応しの成と まり施 数いス不て まり施 数いス不て が 数かス不て が 表すシステ でして あるが あるが まり を状々 特い ストし もし の の と る の の の の の の の の の の の の の の の の	よいできる。 はいまできる。 はいまできる。 はいまできる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、										

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	広聴事業(企業	訪問・市長と語	うろう・パブリッ	クコメント)	事業期間	平成	11年度 ~ -	- 年度						•
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	6-1-2	他に関連する 基本事業						所管課係	市長公室課広報広聴係
目的 (何のために実施するのか)	り、ボランティブ 通じて「市政にと	など特色ある活 のようなことを	動をしているグル 感じているのか」	ープ・サークル ⁷ を聴いたりする。	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を行い、その中 らづくりに向け	から普段の活動を た相互理解を図	(どのような方法で	式で懇談する。			の企業や対象グル I民等からの意見扱		たを直接訪問し、フリートーク形 C公表する。
	企業訪問:市内で 市長と語ろう:お パブリックコメン	おむね10人以上	者 で活動している市	内のグループやヤ	サークルなど			成果 (どのような効果が 得られるのか)	市民が市政に対しすることができる	しどう感じている るよう、まちの活	のか、市長はま <i>ち</i> 性化に向けた提言	っづくりに対してと きをはじめ、市民か	ごのような考えを打 が日ごろ感じてい <i>。</i>	寺っているのかを、お互いに理解 ることなどを聴くことができる。
事業開始時の状況緯		また、「市長とな現在は施設見学会	グループサークル系 会終了後などに行っ	恳談会」は、平成 っている。		とすながわを					ークルなどと懇談	{している。		

[DO]

実績

				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国 費					0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 債					0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
,,		実績額				0				0					0	0
入	その他					0				0					0	0
+		予算計上額				0				0					0	0
\$		実績額				0				0					0	0
れ	一般財源		37, 000			111, 000	37, 000	,	37, 000		37, 000	37, 000	37, 000	37, 000	148, 000	370, 000
		予算計上額	37, 000	37, 000	37, 000	111, 000	37, 000	,		78, 000					0	189, 000
た		実績額	31, 856	31, 656		95, 164	16, 524			16, 524					0	111, 688
事	事業費合計		37, 000	37, 000	37, 000	111, 000	37, 000	37, 000	37, 000	111,000	37, 000	37, 000	37, 000	37, 000	148, 000	370, 000
		予算計上額	37, 000	37, 000	37, 000	111, 000	37, 000 16, 524	41, 000	0	78, 000	0	0	0	0	0	189, 000
業		実績額	31,856 ・消耗品費10千	31,656 ・消耗品費10千	31,652 ・消耗品費10千	95, 164	,	<u>0</u> ・消耗品費10千	0	16, 524	0	0	0	0	0	111, 688
費の推	事業費予算の 内容		円 ・食糧費5千円 ・印刷製本費6 千円 ・通信運搬費16 千円	円 ・食糧費5千円 ・印刷製本費6 千円 ・通信運搬費16 千円	円 ・食糧費5千円 ・印刷製本費6 千円 ・通信運搬費16 千円		円 ・食糧費5千円 ・印刷製本費6 千円 ・通信運搬費16 千円	円 ・食糧費5千円 ・印刷製本費6 千円 ・通信運搬費20 千円								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)				前年度同額		前年度同額	・通信運搬費の 増								
	実績との比較 (増減理由)		・3月補正▲ 5,000円(食糧	・消耗品費の減 ・3月補正▲ 5,000円(食糧 費)	・3月補正▲		・通信運搬費の 支出減 ・3月補正▲ 3,000円(食糧 費)									

指	標の推っ	移・評価															
活	動指標	1 (「手段」をも	とに設定)	指標名:開催回	数		指標の求め方:閉	昇催回数									
成	果指標	1 (「成果」をも	とに設定)	指標名:参加者	数		指標の求め方:参	多加者数									
						13カ年計画				3カ年計画	0			3次実施4力年記			第 7 期
				第1年次	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次(9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次	第10年次	実施4カ年 合 計	総合計画合計
Н		活動指標 1	計画値	(3年度)	2 (4年度)	(5年度)	2	2	(7年度)	(6年度)	н н	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	п п	
	指	(単位/箇所)		0		1		1									
	標	成果指標 1 (単位/件)	計画値	30				30	30	30)	30	30	30	30		
		事業の達成度		0	0	11	あまり達成されていない	3									
		事業の成果(成果指標を					あまり上がってい ない										
		事業の効率性	Ė				あまり上がってい										
		(事業費に対す	する成果)				ない										
		総合評価		自己分析:	自己分析:	自己分析:	普通である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事 养 事 等 語 佰	务 事価内容	理の実自	評価の判断 または指標 結値に関す 己分析	ル響訪語でたが配も催たいない、は、うしたが配も、カーによりであると、カーにとをライカれとといっないまだ。このは、カーは、カーは、カーは、カーは、カーは、カーは、カーは、カーは、カーは、カー	響問語語では、う中情力とは、うり、「しとをう方は、うり、「しとをう方とは、らりでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いる	う後惟周かり思な訪代各や企見対は、なちにかとも数に、体ン営っ、いたがと者に。市現のド本場に、市現のド本者は、本の当時にからた、、体ン営すると、、体ン営すると、、体ン営すると、、体ン営すると、、本のでは、本のでは、本のでは、本のでは、本のでは、大いで、本のでは、大いで、大いでは、大いでは、大いでは、大いでは、大いでは、大いでは、大いで	口染り「う中とが院学も徒行る通た・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	名名なま今質すし市うわ直べ 所参なさいの間なた長なるを を参っているなと のなっの間なた長なる に がが政もに がが政も原内 の課容 に 結え等に が が は に り に り に り に り に り に り に い に い に い に い									
		今後の方向性	ŧ .				現状のまま継続										
	改善	性の判断理由 、改革の内容 、R8、R10)		いたが、5類に移 に開催しやすい。 間市長が変わった。	ロナウイルス感染 6行されたことに』 状況になってきて たことから、選定し まえながら選定し	とり、市長と語ろいる。企業訪問に 1から訪問する態	う、企業訪問とも こついては、この 影勢となったが、	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	まちづくり出	出前講座事業			事業期間	平成	14年度 ~	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	6-1-2	他に関連する 基本事業						所管課係	市長公室課広報広聴係
目的 (何のために実施するのか)	市民との情報の語研鑽・資質の向.	共有化、顔が見え 上を図り、市民参	る行政サービスに 加によるまちづく	よる市民との相! りを推進するこ	- 互理解の進化、説明 とを目的とする。	月責任を果たす	ための職員自身の	手段 (どのような方法で 実現するのか)	2. D 4 1. > A + =	青に基づき、各課	の管理職員等が講	師として直接出向	[実施可能な講座 8]き、所管する事	を集約し市民に広報する。申し込
対象 (誰・何を対象としているのか)	市内に在住、在	勤または在学する	おおむね10人以	上の仲間や各種に	団体			成果 (どのような効果が 得られるのか)	市民が知りたい情対してどう感じて	情報を提供するこ ているのかを知る	とで、市民との情 ことができるとと	報の共有化が図ら もに、職員の説明	っれる。また、市! 責任を果たすたと	民と直接対話することで、姿勢に めの資質向上などにつながる。
事業開始時の状況 緯	兄・これまでの経	市からの情報提行づくりに向けたな	供の手段として「と 相互理解に取り組ん	出前講座」の実施 んでいる。令和4	を望む市民の声が 年度の講座は、5つ	多いことから、 のテーマに分!	、平成14年度より け全79講座を開設	 職員が各種団体の要 した。	要望に基づき、直接	- 後出向いて所管事	務の現状等の説明	を行う「砂川まち	づくり出前講座」	を開設し、市民と協働によるまち

[DO]

実績

		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年計	一画		第 7 期
	第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
国 費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入 そ の 他 計 画 額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
美額 額				0				0					0	0
れ 一般財源 計画額				0				0					0	0
予算計上額 宝 縛 類				0				0					0	0
大 帜 帜				0				0					0	0
事 事業費合計 計 画 額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予算計上額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業 実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費														
事業費予算の														
の内容														
推														
移业在内景等。														
前年度予算との比較														
(増減理由)														
実績との比較 (増減理由)														
(培/改生日)														

7	目標の	推移	・評価														
ž	舌動指	標 1	(「手段」をもとに設定)	指標名:新メニ	.ューの数		指標の求め方: 出	出前講座における	新たなメニューの	数							
J.	成果指	標 1	(「成果」をもとに設定)	指標名:開催回	数		指標の求め方:閉	開催回数									
					第1次実施	3 カ年計画	-		第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年記	计画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		指	活動指標 1 計画 (単位/箇所) 実網		5 5 5 12	5		5 12	5	5		5	5	5	5		
	- :	1795	成果指標 1 計画					24	. L	24		24	24	24	24		
	F		(単位/件) 実約	i值	8 10	17		13									
			事業の達成度 (活動指標をもとに評	西)			あまり達成されていない										
		L	事業の成果 (成果指標をもとに評	西)			上がっていない										
			事業の効率性 (事業費に対する成果														
		i	総合評価				普通である										
	務	評価内容	理由または打	設数は計画値どおりで、 おり、間値をはののの、開を型ので、関を型のでを関するというです。 かっているでは、 での影響をはいるできる。 での影響をはいるできる。 での影響をはいるできる。 での影響をはいるできる。 での影響をはいるできる。 での影響をはいるできる。		設数は は し い の の の 値 っ の 値 っ の 他 に り が る の の 他 に り の の 他 に り の り で り で り た り で り で り で り で り で り で り で	値て型スが指さい、い新ル響果るいまないますが、	設 さ さ は し 、 値 を は し 、 値 毎 に を に を に を に を に を に を に を に を に を に を に を に を に を に も で に が も に も も に も に も に も に も に も に も に も に に も も に も も に も も も も も も も も も も も も も	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		Ī	 今後の方向性				現状のまま継続										
	H			R5 :		- 51485		R8 :				R10 :				ll .	
	也	善、	の判断理由 改革の内容 R8、R10)	きない状況が続 に引き下げられ	ナウイルス、 いたいたがら、今に いたと考える。 ると考える。その は状のまま継続」と	コロナウイルス はこれまでよりも	発症が5類感染症 開催するにあ										

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	ホームページ管	「理事業(市ホー	-ムページ・市公	式LINE)	事業期間	平成	:12年度 ~ -	– 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	6-1-2	他に関連する 基本事業						所管課係	市長公室課広報広聴係
目的(何のために実施するのか)	わかりやすい広	服機能を充実させ	るとともに、タイ	ムリーな情報を	より多くの方に提供	キする 。		手段 (どのような方法で 実現するのか)	各課で作成した情	青報などを、イン	ターネットを通じ	て市政情報などを	- 提供する。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	インターネットの	の利用者						成果 (どのような効果が 得られるのか)	常に新しい市政情	青報を分かりやす	く提供し、多くの)方に利用されるこ	ことにより市政に対	対する関心や理解が高まる。
事業開始時の状況 緯	る。なお、平成1 式を定め運用を行	覧に対応させるこ	となどを目的にリ	ニューアルし、全	らも直接情報発信を行う体制とな は体のページに統一感が出るよう様 ・体的に運用している。									

[DO]

実績

		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入 そ の 他 計 画 額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実 績 額				0				0					0	0
れ 一般財源 計画額	1, 883, 000			5, 649, 000	1, 883, 000	1, 883, 000	1, 883, 000	, ,	1, 883, 000	1, 883, 000	1, 883, 000	1, 883, 000	7, 532, 000	18, 830, 000
を お	1, 883, 000	1, 883, 000	1, 883, 000	5, 649, 000	1, 883, 000	1, 929, 000		3, 812, 000					0	9, 461, 000
天 棋 俄	1, 882, 034	1, 882, 034	1, 881, 716	5, 645, 784	1, 881, 716			1, 881, 716					0	7, 527, 500
事 事業費合計 計 画 額	1, 883, 000	1, 883, 000	1, 883, 000	5, 649, 000		1, 883, 000	1, 883, 000	5, 649, 000	1, 883, 000	1, 883, 000	1, 883, 000	1, 883, 000	7, 532, 000	18, 830, 000
予算計上額	1, 883, 000	1, 883, 000	1, 883, 000	5, 649, 000	1, 883, 000	1, 929, 000	0	3, 812, 000	0	0	0	0	0	9, 461, 000
業 実績額	1, 882, 034	, ,	1, 881, 716	5, 645, 784	1, 881, 716	0	0	1, 881, 716	0	0	0	0	0	7, 527, 500
費	・消耗品費9千	・消耗品費9千	·消耗品費9千		·消耗品費9千	・消耗品費9千 円								
事業費予算の	・保守点検委託	ロ ・保守点検委託	ロ ・保守点検委託		□ ・保守点検委託	ロ ・保守点検委託								
の内容	料950千円	料950千円	料950千円		料950千円	料996千円								
推	・情報発信使用 料924千円		·情報発信使用 料924千円			·情報発信使用 料924千円								
1E	情報発信使用料		前年度同額			保守点検委託料								
移前年度予算と	の増	IN TO IN IN	אמו ויין או ידי נימ			の増								
(増減理由)														
	消耗品の減	消耗品の減	消耗品の減		消耗品の減									
実績との比較														
(増減理由)														
					1			l .	l .					

動指標	1 (「手段」を	もとに設定)	指標名:新規ペー	ージの開設数		指標の求め方:新	新規ページの開設	数(各課の事業周	知ページを除く)							
果指標	1 (「成果」を	もとに設定)	指標名:アクセン	ス数		指標の求め方: 5	年間総セッション	数(全ページ合計)							
				第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4力年計	一		第 7
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計合
	活動指標 1 (単位/箇所	計画値	2	2	2		2	2	2		2	2	2	2		
指標		ま積値 計画値	400, 000	415, 000	430, 000		445, 000	460, 000	475, 000		490, 000	505, 000	520, 000	535, 000		
124	成果指標 1 (単位/件)	実績値	618, 132	711, 643	739, 951		643, 038	400, 000	473,000		490,000	303, 000	320, 000	333, 000		
	事業の達成/ (活動指標を	度 そもとに評価)				達成されている										
	事業の成果 (成果指標を	きもとに評価)				上がっている										
	事業の効率は事業費に対					変わらない										
	総合評価					極めて良好である 判断理由:		自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
評価内容	理師の影	由または指標	の多宣クがたンり情すペナ更よ所に、大田のの多宣クがたンり情すペナラいい。 アーカー かりい できまれ はいった かりい できない はいい かい か	新ルる況スら各やみによジをすりがて型ス学な数れたのた事がトあ期こアネシー野獣で増。イな業やリッる的とクた。イな業やリッる的とクた。スト電観・イな業のでがたいになったといったのでのクがたとりにのクがたといった。	セはアをがり変と方セこ少な年もる(ン介員ペッ、ナ使、バ更に法ットである。スプすのようで、バリアにはがかまるたら少、イラる集ジットではいる。スプは、大い、ス、、規数ルクいよがこ集、は減、前率 タ紹職数のスるよがこ集、は減、前率 タ紹職	ナウイルス関連 を含む提供ない の情報要は が果な情報 を効果な情報 できたと考えて	セッション数 は、グーティン を使用している が、R5.10月よ が、ロラン・ 変更になったこ									
改善	今後の方向付 今後の方向付 性の判断理由 、改革の内容 、R8、R10)	1	む災害などの情報 えており、また、 ムページで閲覧す	新規ページの開設 報提供など、必要 LINE公式アカウ するようリンクさ 今後も迅速に詳細	な情報を効果的に ントで発信する際 せたりしているた	発信できたと考 に、詳細をホー め、アクセス数	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	市勢要覧発行	事業			事業期間	昭和	133年度 ~	— 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	6-1-2	他に関連する 基本事業						所管課係	市長公室課広報広聴係
目的 (何のために実施するのか)	「砂川市第7期総 る。	合計画」の基本的	な考え方や他都市	こはない政策・	- 持色を分かりやすく	市内外のより	多くの人に伝え	手段 (どのような方法 実現するのか)	企画・取材・写載し、統計情報	真撮影・編集など の提供と総合的な	を自ら取材をし、 市勢の解説を行う	全20ページ程序	度の冊子を作成する	るとともに、ホームページにも掲
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内外の砂川市に	こ関係する(関心の	りある)方や企業な	Ľ.				成果 (どのような効果 得られるのか)	有効的な手段と	して、まちづくり	の状況やまちの態	悲力を市内外に効果	具的にアピールす?	3.
事業開始時の状況緯	・これまじの栓	本編は、過去には	2年に1度発刊して	いる時期もあっ	5内外に紹介するたったが、平成11年度 す成分からは原稿を	以降は4年に	1度の発刊、資料	編は2年に1度0	発刊としている。	ている(それ以前	は町勢要覧として	· 発刊)。		

[DO]

実績

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4力年記	一画		第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	第 7 期 総合計画 合 計
	 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
ŭ	董 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
1:	也 方 債					0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
さ		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ -	- 般 財 源				270, 000	270, 000				0	295, 000				295, 000	565, 000
た		予算計上額			295, 000	295, 000				0					0	295, 000
		実績額			282, 159	282, 159				0					0	282, 159
事	事業費合計		0	0	270, 000	270, 000	0	0	0	0	295, 000	0	0	0	295, 000	565, 000
2014		予算計上額	0	0	295, 000	295, 000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	295, 000
業		実績額	0	0	282, 159	282, 159	0	0	0	0	0	0	0	0	0	282, 159
費の推	事業費予算の 内容				印刷製本275千円 円 消耗品20千円											
	前年度予算と の比較 (増減理由)															
5	€績との比較 (増減理由)				印刷製本費の減											

推	標の排	移・評価	面														
汪	動指標	1 (「手	段」をもとに設定)	指標名:発行回	数		指標の求め方:市	「勢要覧本編、資	料編発行回数								
成	集指標	1 (「成	果」をもとに設定)	指標名:配布部	数		指標の求め方:西	記布部数(年度に	よって配布部数か	ば異なるため計画	直の設定はしない))					
					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年記	十画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	指	活動指	指標 1 計画値 立/回) 実績値	1	<u> </u>	2			1			2		1			
	標	成果指	旨標 1 計画値	_		_			_	_		_	_	_	_		
		車業σ	^{立/部)} 実績値 D達成度	308	3 249	281		450									
		(活動	指標をもとに評価)				達成されている										
		事業の	D成果 指標をもとに評価)				変わらない										
			D効率性 費に対する成果)				変わらない										
		総合評	平価				普通である										
DAY MAIN ANN INC	事務事業評価	i	総合評価の判類 理由または指関 の実績値に関す る自己分析	には20年代を表していてになっては20年代を表して生まれていて作者的である。 ちょう できる いっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい	編149、資本は 100とかけい 第100とかけい 100とかけい 100、昨年日本 100、10で 100、10で 100で 100で 100で 100で 100	編もて年しらて標めている。 にいる、年いのので発すであり、年いのの実施であり、年いのの実施であり、一般ではいる。 にんしょう はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はい	リ川外で が大いでが がが変なだが が数なただージャープ	編393 x 57 9 57 9 57 9 57 9 57 9 57 9 57 9 57	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後0	の方向性				現状のまま継続										
	改割	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の内容	ネット環境が大 グポケット)か 員募集説明会な 紙媒体の市勢要	ートフォンして ートに向関い ートに向関い にの関い にの関い で いてき策る。 で い い の ま が ら か り が ら の が り の が り の の が り の の が り の の が り の が り の が り の が り の り が り が	、ホームページや うになっているが するため即時に見 自前で制作するDT	アプリ(カタロ 、議員視察や職 しることができる	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	市政ガイドブ	ック発行事業	ŧ		事業期間	平成	8年度 ~ -	- 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	6-1-2	他に関連する 基本事業						所管課係	市長公室課広報広聴係
	市民の暮らしに必 め、疑問や不安解		など、行政情報を	つかりやすく市」	民に提供することで	、行政に対す	る関心や理解を深	手段 (どのような方法で 実現するのか)	行政情報を各課が 配布を行う。	から集約し、広報	広聴係にて編集、	作成し、製本をタ	ト部発注する。広≒	級委員と連携を図り、全世帯への
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市民(転入者	や婚姻する方、そ	その他希望者などに	配布)				成果 (どのような効果が 得られるのか)	市民の暮らしにぬるとともに、疑問	必要な情報や制度 問や不安解消の一	など、行政情報を 助となる。	わかりやすく提供	共することにより.	. 行政に対する関心や理解が深ま
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	市政ガイドブック	クの初版は平成8年	度に出され、以	後行政事務の内容変	を更等に伴い必	必要に応じて不定期	に発行されてきた。	平成26年度から	は、市内企業から	の広告収入で作品	或することとした:	ため市の事業費は	なくなっている。

[DO]

実績

		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	63カ年計画			第	3次実施4力年計	一		第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
国 費 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
道費計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
地 方 債 計 画 額				0				0					0	0
投予算計上額				0				0					0	0
実績額				0				0					0	0
入その他計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
実 績 額				0				0					0	0
れ 一般財源 計画額				0				0					0	0
予算計上額				0				0					0	0
大 恨 银				0				0					0	0
事 事業費合計 計 画 額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予算計上額 業 実績額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業 実績額	(0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
費														
事業費予算の														
の内容														
推														
移前年度予算と														
の比較														
(増減理由)														
実績との比較 (増減理由)														
(増減理由)														

活動指標 1 (「手段」をもとに設定)	指標名:発行回数	女		指標の求め方:多	论行回数									
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:配布部数	女		指標の求め方:酢	己布部数									
		第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計			第 7 期
	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	台計
			4				4				4			

				第 「 次美施 3 万年計画				第2次美施3万年計画 				第3次美施4万年計画				第 7 期		
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期 総合計画 合 計	
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	百二百	
		活動指標 1	計画値			1				1		ļ		1				
	指	(単位/回)	実績値			1							ļ					
	標	成果指標 1	計画値	 		8, 600				8, 600		_		8, 600				
		(単位/部)	実績値			8, 341												
		事業の達成度(活動指標をも					達成されている											
		事業の成果	ひ C I C I T I II /															
		(成果指標をもとに評価)					変わらない											
		事業の効率性																
		(事業費に対す	する成果)															
		総合評価					極めて良好である											
				自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:		
							市の制度や各種											
						り、民間企業と	届出、施設情報											
						共同で制作し、												
						ム古収入 () 発行 したため奴隶は	ついていること で、利便性が高											
							いものと考えて											
						かかうていな	いる。また、民											
事							間企業と共同で											
	= ∞					報委員の協力に	制作しており											
	評					より市内に全戸	広告収入で発行											
347	価					配付を行った。	していることか											
務	内						ら経費がかから											
	容	総合	評価の判断				ず、令和5年度											
+		理由	または指標				においても全戸											
事		の実	績値に関す				に配布すること											
		る自	己分析				ができている。											
業																		
未																		
評																		
ВТ																		
価																		
		今後の方向性					現状のまま継続											
				R8 :								R10 :						
					届出、施設情報な													
					さらには民間企業													
					ず、令和5年度にお													
				することができ	ている。引き続き	定期的なスパンで	発行していくこ											
				ととする。														
		生の判断理由																
	以香、 (DE	改革の内容 R8、R10)																
	(KO,	NO. KIU)																